

研究課題名：地域の観光人材育成と新たな「観光ネクスス」の生成に寄与する「地域芸術祭」の研究

研究種目：基盤研究（C）（一般）

研究代表者：橋本和也 京都文教大学 名誉教授

（概要）

「地域の観光人材育成と新たな「観光ネクスス」の生成に寄与する「地域芸術祭」の研究」2000 年以降、日本各地で地域の名を冠したアートプロジェクト「地域芸術祭」が地域活性化の掛け声とともに開催されている。「アートネクスス」・「観光ネクスス」とは、「アートのなるもの」・「観光的なるもの」をめぐって、様々なモノやヒトがアクターとなってエージェンシーを発揮し、同時にその受け手となる連鎖を指す。そのハイブリッドなアクターたちによって形成されるネットワークが「地域芸術祭」であり「観光まちづくり」である。すべての地域芸術祭が成功し継続しているわけではなく、数回で終了したプロジェクトもある。

しかしその「失敗」した事例においても、芸術祭開催を契機にして地域における「観光人材・地域人材」の育成という成果が多く見られる。本研究では、「地域芸術祭」において様々なモノやヒトが連鎖して「観光ネクスス」が生成する過程と、その生成に寄与する「地域人材・観光人材」が育成されている過程を明らかにするのが目的である。

※R6 研究計画書より抜粋